

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援センターめだか園		
○保護者評価実施期間	2025年11月19日		～ 2026年2月6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	51名	(回答者数) 42名
○従業者評価実施期間	2025年11月19日		～ 2026年2月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関との連携と支援員の配置 相談支援事業所(併設)や保育園・幼稚園、学校等、地域の関係機関との連携が密に取れていること。 市直轄の事業所であることから、市職の保健師、臨床心理士、言語聴覚士との連携がスムーズであり相談体制が整っていること。 	<ul style="list-style-type: none"> めだか園の職員が幼稚園保育園の支援者会議に参加するほか、保護者の同意を得て、各園とめだか園とで通所児童の情報共有をしている。 市の専門職が各教室に同行し、お子さんに必要な支援の検討を定期的に行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 園との情報共有は、ケースに応じて電話・対面・書面・オープン教室(参観)で行っている。今後も、こどもの姿を共有し、相互理解や各所での取組につながるよう図っていく。
2	<ul style="list-style-type: none"> 支援内容、支援プログラムに関すること 	<ul style="list-style-type: none"> 支援プログラムの目的や、こどもに伝わりやすい声のかけ方などは特に意識的に保護者へ伝えるようにしている。 教室後はめだか園職員と市の専門職とで情報共有を行い、支援内容のチェックや見直しに努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各教室の前後に、こどもへの支援・方法(かかわり方)等を、保護者に分かりやすく説明したり、応答したりしていく。 こどもや保護者と信頼関係を築いていけるよう、日々やり取りを重ねながら、安心して話してもらえるよう努める。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 家族支援プログラム等の情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> 開催している子育て講座などの家族支援プログラムの情報発信(対面・HP)の回数・質がともに不足していた。職員間の内容確認・共有が遅くなり、情報発信や周知に繋がらなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 誰が、どのように情報発信するのかを明確にする。 年間計画を基に、職員間で内容確認を速やかに行い、情報発信に繋げていく。 園内での声かけや張り紙等、保護者に伝わりやすい周知の
2	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な面談・相談の対応はよかったが、教室の活動終了後の時間では、活動目的やかかわりについて十分に伝えきれないこともあった。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動終了後は、こどもが帰り支度をしている慌ただしい状況のため、立ち話で伝えることが多く、十分に共通理解できているか心配なことがあった。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動終了後に教室の主担当保育士が、活動目的や活動内でのこどもの様子等、保護者(一斉)に話す機会を設ける。 保護者からも保育士に声をかけやすくなるよう、日頃からの関係作りや雰囲気作りに務める。
3			